

国際特許取得の Buddycom 翻訳機能、85 言語対応へ拡大 過去最多 230 万人超の外国人労働者を支え、人手不足解消に貢献

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）は、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」の、国際特許^{※1}を取得したトランシーバー翻訳機能をさらに進化させ、対応言語を 62 言語追加し 85 言語へと大幅に拡大したことをお知らせします。

最新の「外国人労働者雇用状況の調査」（厚生労働省／2025 年 1 月発表）によると、日本国内の外国人労働者は過去最多となる 230 万人に達しており、日本社会が抱える深刻な人手不足を支える存在となっています。こうした状況の中で、多様な現場での円滑なコミュニケーションを実現し、外国人労働者を支えることは社会課題の解決に直結します。

Buddycom は「トランシーバー翻訳」機能を拡充することで、すべてのフロントラインワーカーが言語による不安を抱えることなく、シームレスに協働できる環境を提供してまいります。



国際特許取得

Buddycom 翻訳機能 85 言語対応へ拡大

過去最多 230 万人超の
外国人労働者を支え、
人手不足解消に貢献

※1 特許の詳細についてはこちらをご参照ください

2023 年 12 月 19 日「Buddycom、米国で基本特許「音声通話におけるテキスト化、および翻訳通信技術」を取得」

<https://buddycom.net/news/news-20231219/>

■ 開発の背景 ～外国人労働者の急増と社会課題「人手不足」～

厚生労働省の発表によると、令和 6 年の外国人労働者数は過去最多となる 230 万人を記録。さらに、令和 7 年 10 月 1 日からは「外国人雇用状況の調査」が開始され、今後の増加が確実視されています。また、全国で最も多く 25.4% の外国人労働者数を抱える東京都は、これまで中国、ベトナム、フィリピンなどからの人材受け入れが中心でしたが、今後はエジプトなど新たな国からの人材受け入れも始まり、多様化が進んでいく予定です。これにより多様な言語を使用する就労者が急速に増加する中、現場での円滑なコミュニケーション環境整備は喫緊の課題となっています。

■ Buddycom トランシーバー翻訳／対応言語について

Buddycom のトランシーバー翻訳では、自分の話した内容が、相手の言語に合わせて翻訳され、相手に音声と文字で届く機能となります。同時に話せる・翻訳される人数は無制限で、同時に多数の言語へ翻訳されます。

【対応言語一覧】

アイスランド語・アイルランド語・アゼルバイジャン語・アッサム語・アフリカンス語・アムハラ語・アラビア語・アルバニア語・アルメニア語・イタリア語・インドネシア語・ウェールズ語・ウクライナ語・ウズベク語・ウルドゥー語・エストニア語・オディア語・オランダ語・カザフ語・カタルーニャ語・ガリシア語・カンナダ語・キニヤルワンダ語・ギリシャ語・グジャラート語・クメール語・クロアチア語・ジャワ語・ジョージア語・シンハラ語・スウェーデン語・ズールー語・スペイン語・スロバキア語・スロベニア語・スワヒリ語・スダナ語・セルビア語・ソマリ語・タイ語・タガログ語・タミル語・チェコ語・ツワナ語・テルグ語・デンマーク語・ドイツ語・トルコ語・ネパール語・ノルウェー語（ブークモール）・パシュトゥー語・バスク語・ハンガリー語・パンジャブ語・ヒンディー語・フィンランド語・フランス語・ブルガリア語・ベトナム語・ヘブライ語・ペルシャ語・ベンガル語・ポーランド語・ボスニア語・ポルトガル語（ブラジル）・ポルトガル語（ポルトガル）・マケドニア語・マラーティー語・マラヤーラム語・マルタ語・マレー語・ミャンマー語・モンゴル語・ラオ語・ラトビア語・リトアニア語・ルーマニア語・ロシア語・英語・韓国語・広東語（香港）・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・南部ソト語・日本語（85 言語）

※使用する端末の OS や選択する翻訳エンジンによって、対応言語や読み上げ可否が異なります。

■ Buddycom とは (<https://buddycom.net/>)



＼おかげさまで Buddycom は 10 周年／
フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段としての活用がされています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 5 年連続シェア No.1[※]を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2025 年度版」

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 4.5 億円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://science-arts.com/>